廃棄物資源循環学会企画セミナー

# 日本におけるごみ処理システムのコロナ禍への対応について

2021－6－29
廃棄物資源循環学会

〔趣旨〕コロナ禍は社会システムを動揺させましたが、衛生インフラとしてのごみ処理システムは十分にその役割を果たしております。ごみ処理のしくみが、元来、都市の衛生機能の維持を目的としたものであることに加え、現場の努力と社会の理解が事態を好転させた結果といえます。このセミナーでは、廃棄物資源循環学会から、市民社会に向けて、発信するものです。

〔主　催〕　廃棄物資源循環学会
〔日　時〕　**2021 年 8 月 25 日（水）13:00～16:30（受付開始 12：30）**
〔会　場〕　完全ＷＥＢセミナー
〔定　員〕　100 名（事前 WEB 申込み制）
〔参加申込み〕学会ホームページ（http://jsmcwm.or.jp/?p=）から申込みください。
セミナー参加費　無料　（但し資料代　学会員 2000 円、非会員 5000 円）
事前振込でお願いします。

〔プログラム〕

13：00～13：05　開会の挨拶　高岡昌輝（学会誌編集委員長）
座長　渡辺信久（大阪工大）

13：05～13：45 新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物分野の対応について
～廃棄物処理の原点は衛生の維持～
山田浩司（環境省）

13：45～14：25 COVID-19 対策に現状の処理システムはどれほど有効か
村岡良介（日本環境衛生センター）

14：25～15：05 感染性廃棄物の処理はどうなっているか
早川健一（神戸環境クリエート㈱）

15：05～15：45 札幌市の廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症への対応
岡本　俊幸（札幌市）

15：45～16：25 パネルディスカッション　渡辺信久（大阪工大）

16：25～16：30　閉会の挨拶　長田守弘（学会副会長）